

# 令和7年度の新規実施予定事業について

---

# ① 人的資本経営に向けた経営層のマインドチェンジ事業（労働雇用政策課）

- DXや脱炭素などの社会環境変化や人材不足の状況下に企業として対応し、企業価値を高めるためには、
  - ・ 従業員一人ひとりのリスキリングなど、「人的資本の水準の向上」
  - ・ 社員の働きがいの向上や多様で柔軟な働き方など、「ウェルビーイングの向上」を一体的・総合的に進めることで人材価値を最大限に引き出す「人的資本経営」が重要。
- 一方で、人的資本経営の実現にあたって、企業ごとに課題や重視する取組は異なる。



企業におけるリスキリングの推進やウェルビーイングの向上の促進に向け、

- ① **経営層の人事戦略の立案**                      ② **企業の創意工夫による具体的な施策導入**  
の各ステップにおける取組を支援

## 【企業の取組視点】

### ① 人事戦略の立案

経営戦略の実現に必要な人事戦略の立案・構築

## 【支援の方向性】

各企業が抱える経営・人事戦略上の課題把握や、「ひとづくり」に向けた戦略構築を支援

## 【R7年度施策の方向性】

### 〔経営層のリスキリング・マインドチェンジ〕

**経営層や人事担当役員等を対象にしたゼミの開催**  
各企業の経営課題を可視化したうえで、課題解決に向けて導入すべき人事施策や、デジタルなど新技術の活用可能性を考えるきっかけづくりを支援

### ② 人事施策の導入

人材の採用・定着・育成や従業員のエンゲージメントの向上など、具体的な人事施策の実施

人材確保・育成・定着に向け、各企業の実態に応じた創意工夫による施策導入を支援

### 〔若年層確保・定着支援事業〕

**スキルアップ支援**  
企業が実施する従業員のスキルアップを支援する取組等

**奨学金返還支援**  
企業が実施する若手従業員の奨学金返還負担軽減策等

# ① 人的資本経営に向けた経営層のマインドチェンジ事業（労働雇用政策課）

## プレセミナー

- ✓ 人的資本経営の背景理解
- ✓ 「DX・リスクリング」についての理解醸成



## 経営層向け講座

- ✓ 人的資本経営の重要性や具体的な取組手法を学び、各企業での取組実践につなげる講座を開催する。

- ・リスクリング、DX
- ・従業員のウェルビーイング向上 など

※実施回数：計8回実施

### 施策KPI：

- ・経営層向けゼミ参加企業数（20社）
- ・経営層向けゼミ参加者のうち、経営に関する考え方に変化のあった経営層の割合（90%）



## 相談・フォローアップ支援等

- ✓ 専門家による個別相談
- ✓ 講座受講企業のフォローアップ、リスクリングに向けた伴走支援等

※個別相談：のべ100回実施  
伴走支援：5社に対し実施

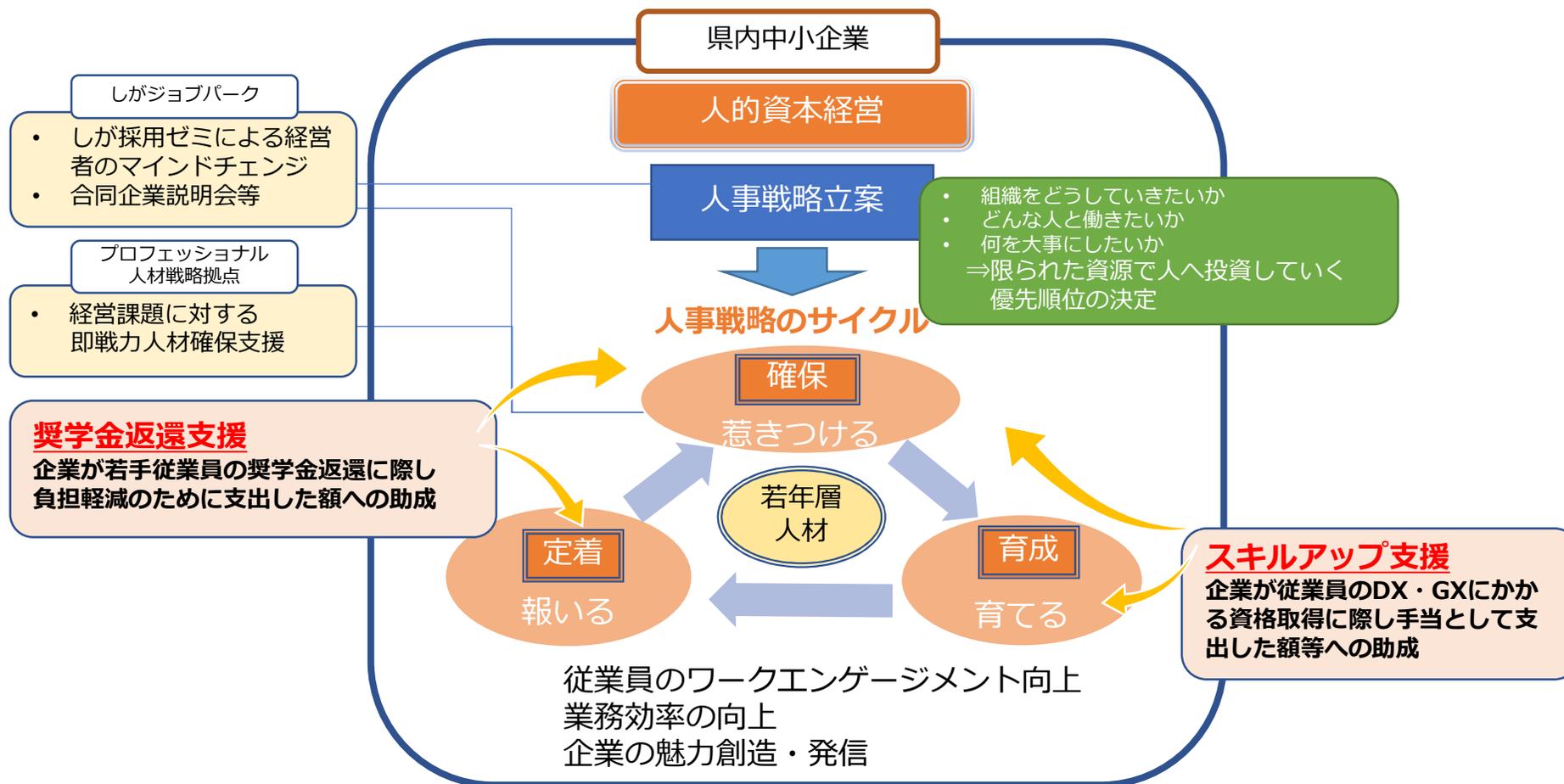
### 施策KPI：

相談・フォローアップ  
支援社（100社）

## ②若年層等確保・定着支援事業（労働雇用政策課）

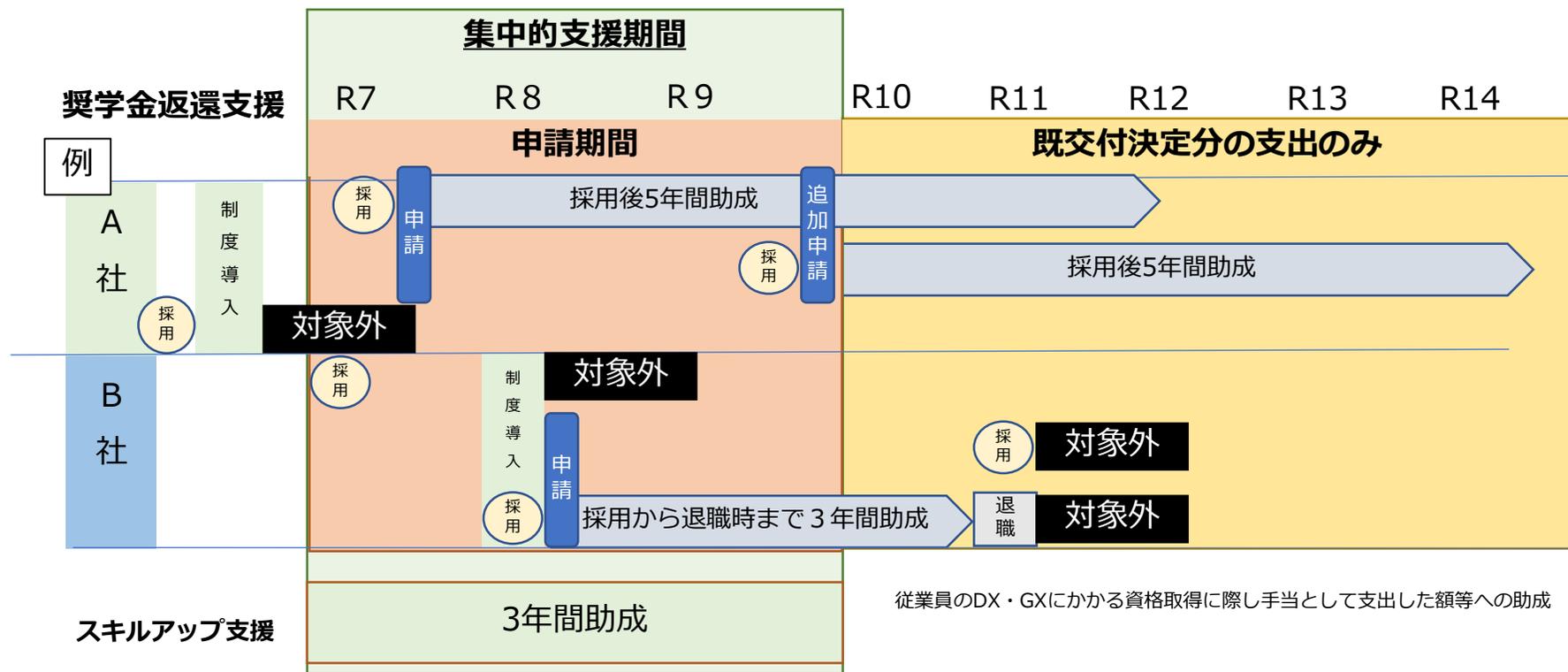
### 若年層等確保・定着支援事業

中小企業の人事戦略による投資に対し3年間を集中的支援期間として助成する。  
※奨学金返還支援は3年間の申請期間と5年間の申請に対する助成期間で延べ8年間実施する。



## ②若年層等確保・定着支援事業（労働雇用政策課）

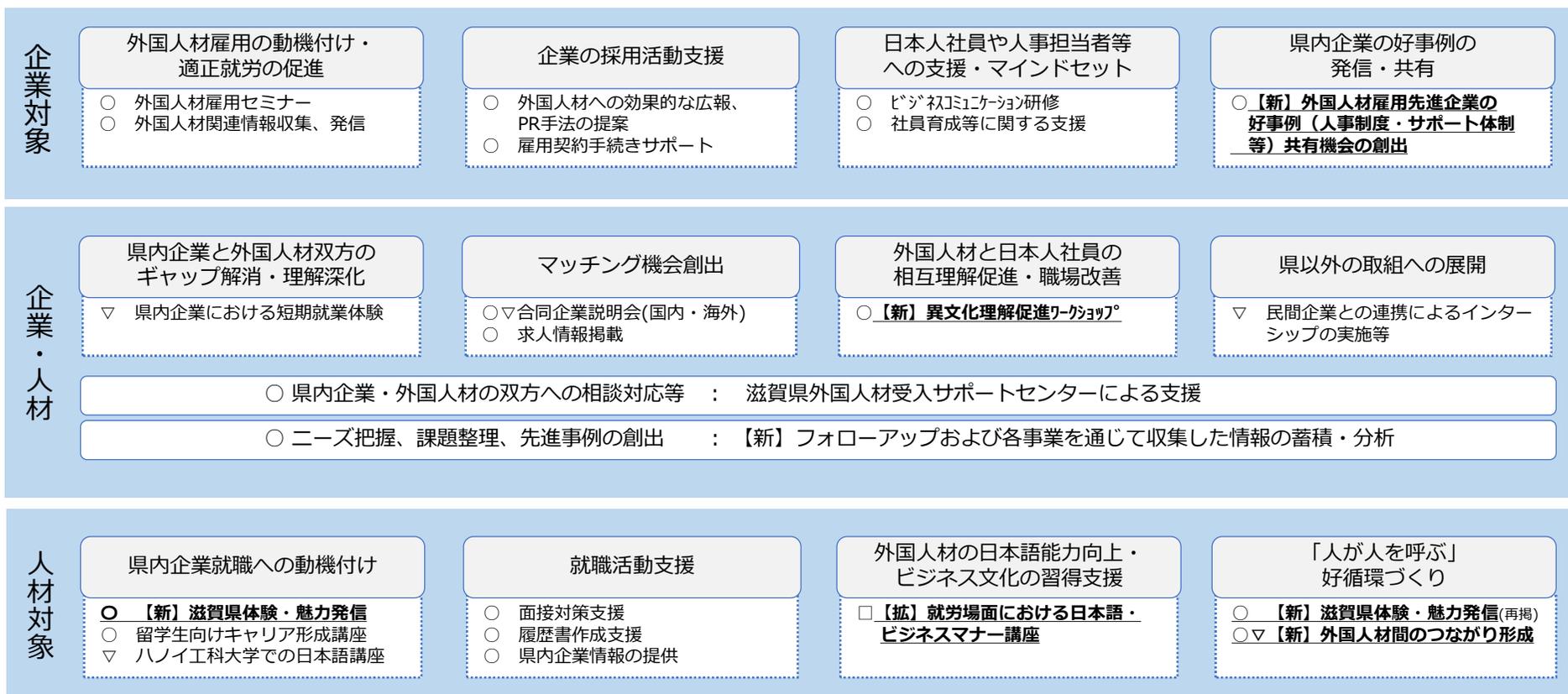
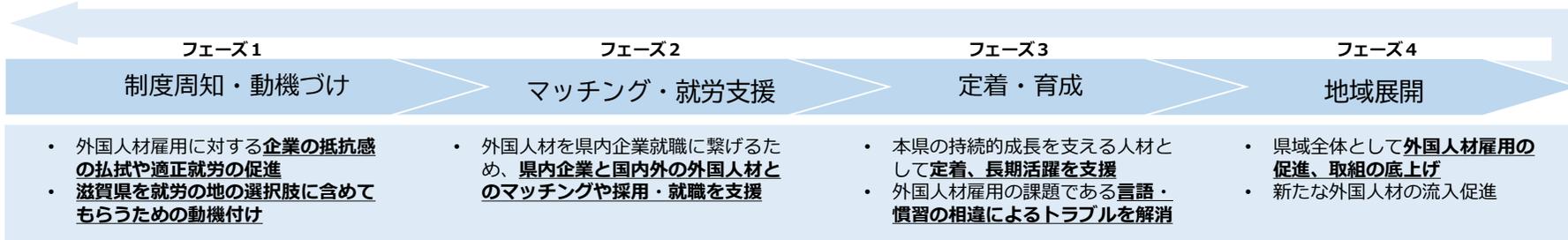
### 事業スケジュールイメージ



# ③外国人材活躍促進事業（労働雇用政策課）

## 目的

就業や生活の地として「世界から選ばれる滋賀」を実現するため、県内企業と外国人材の双方に対し、外国人材の活躍促進に向けた支援を展開。一連の取組により地域における外国人材雇用の好循環を創出し、県内産業の持続的な成長を促す。



# ④ 魅力ある職場づくり事業（労働雇用政策課）

現状

- ✓ 働き方改革関連法が施行され、労働時間法制の見直しや公正な待遇の確保が進められた。
- ✓ しかし、人材面、資金面で課題のある中小企業においては、多様で柔軟な働き方ができる環境整備など「魅力ある職場づくり」に十分取り組んでいるとはいえず、人材確保や人材育成につなげられていない。



課題

- 中小・零細企業に十分な情報が届けられていないのではないか。様々な手段で周知・広報する必要がある。
- 人手不足の中、中小企業の経営者や従業員が、無理なくセミナーへ参加できるよう、様々な開催形式にする必要がある。
- 各企業が抱える課題は様々である。各企業に応じた課題の整理と解決策が求められる。
- 成功事例の共有により、「魅力ある職場づくり」を他の企業にも波及させることが重要。



周知・広報

STEP1

きっかけ

中小企業や業界団体等を対象とした「魅力ある職場づくりセミナー」(Web, 会場)の実施



魅力ある職場をつくるアドバイザーの派遣



成果の共有

☆ 中小・零細企業の経営者・従業員に対し、様々な手段で情報(セミナー開催・アドバイザー派遣)を届ける。

- 多様なメディアによる周知・広報  
・ラジオ、新聞広告、HP、SNS、チラシ、DM

- 関係団体等と連携した周知  
・滋賀労働局、社会保険労務士会  
・県主催のイベント等での周知

☆ 各テーマ毎に専門の講師によるセミナーを主催

- ・職場の顧客ハラスメント対策
- ・改正育児介護休業法 など

☆ 業界団体への出前セミナー

- ・各業界(建築・物流・医療業界など)の研修等へ、専門家が出席してセミナーを実施

STEP2

誘導

誘導



☆ 「魅力ある職場づくり」に関心のある企業に対して、各企業の課題に応じた解決策を提案するアドバイザーを派遣

☆ アドバイザーが「魅力ある職場づくり」に向けて、適切な国・県の助成金や支援制度等を紹介

<例>

- 国: キャリアアップ助成金、両立支援助成金、業務改善助成金、人材開発支援助成金
- 県: 滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点、リスクリング支援、WLB推進登録制度
- その他: 働き方改革推進支援センターの紹介など

STEP3

共有

☆ アドバイザーの派遣を受けた企業の中から、「魅力ある職場づくり」に取り組んだ企業の成果を共有する場を設ける。

☆ 成功事例は、県のパンフレットやHP等で紹介し、他の企業の参考にしてもらうとともに、企業の広報(情報発信)につなげる。



## ⑤ オープンファクトリー推進事業（商工政策課）

### 目的

大阪・関西万博を好機に、企業の認知度向上や将来的な人材確保につなげるため、県内の中小企業が製造現場を公開する“オープンファクトリー（OF）”の取組を後押しする。

### 概要

#### 1. 自社の魅せ方を学ぶワークショップ等の開催（1回以上）

参加事業者（20社程度）がOFの先駆地域等から学ぶ。

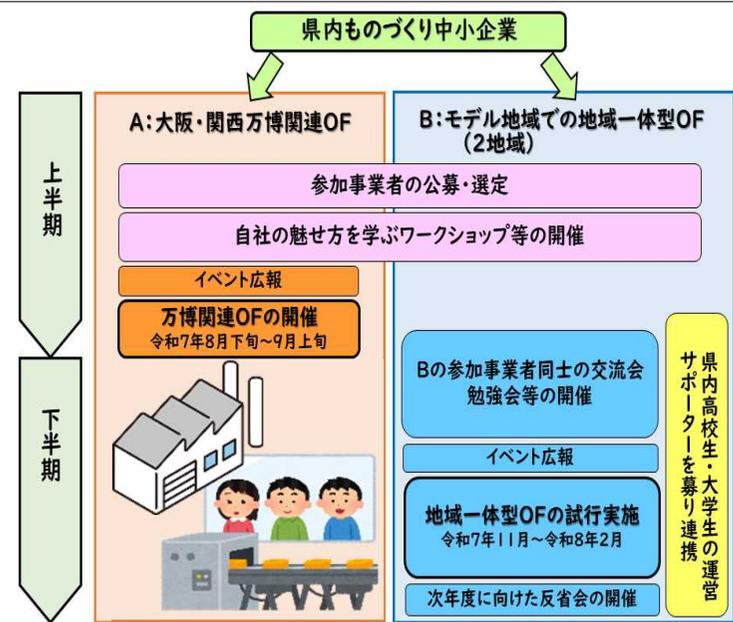
#### 2. 大阪・関西万博関連のOFイベントの開催（4日間：2社／日）

万博開催期間中に、県内企業やOFへの関心を高めるため、小学生～大学生向けに万博関連のテーマ（先端技術等）でOFを実施。

#### 3. モデル地域にて“地域一体型OF”の試行（2日間：6社／日）

次年度以降も事業者が主体的に地域で取組を継続されるよう、モデル地域（2地域）を設定し、参加事業者同士の交流会等を開催することで、企業間連携を促進。

→その後小学生～大学生向けに、“地域一体型OF”を試行実施。



### 事業効果

#### ○参加事業者：

認知度向上、従業員の意識変化、人材確保への好影響 等

#### ○参加者：「モノづくりや現場の価値」の理解、キャリア教育 等

### 【参考】現状

- ・全国的に「地域一体型OF」が活発化
  - ・子どもや若者対象のOFへのニーズが高い
- （参考）自社の現在の課題は、（R6県アンケート結果による）  
1位：人材確保、2位：人材育成、3位：情報発信力

## ⑥しがテックイノベーション創出事業（イノベーション推進課）

### ①リスキングブリッジ創出事業委託

#### ○概要

近年、半導体、宇宙、AIなど、技術の進歩が加速している分野については、常に現状の把握を継続し更に中小企業等が持っている技術の磨き上げを加速する必要がある。そこで成長分野への新規参入のための人材育成プログラムを大学等と実施する。成長分野のトレンドや全体像の把握など開発の方向性を決めるヒントとなる「基礎講座」。半導体や電子部品など特定分野に特化した専門性の高い内容を学ぶ「実践講座」を実施。新分野進出の橋渡しを行う。

#### ○背景

- ・国策としての半導体関連産業（取引先へのサステナブルの要請）の国内回帰への流れ
- ・宇宙ビジネスが身近になりつつあり、自動車産業の電子化・グローバル化の加速も見据え新分野の開拓も重要
- ・急速な進歩を遂げるAI・3D技術などを、製造現場などへ展開する事による効率化・自動化が急務である

#### ○事業内容



## ⑦ 【参考情報】 デジタルリーフレット（商工政策課）

- ▶ 優れた技術等により高いシェアを誇る県内中小企業の魅力を発信し、企業の知名度向上や人材確保等につなげるため、デジタルリーフレット「実はここにも滋賀の技」を作成。令和7年3月時点で41社掲載。

**実はここにも滋賀の技**

**No.1: 株式会社日吉**  
バイオアッセイ分析技術(ケイラックス®)

世界・日本で認められた  
迅速・低廉なダイオキシン類簡易測定法

生物応答を利用した画期的な分析技術

当社のケイラックス®技術は、細菌の生物応答を利用してダイオキシン類を測定するバイオアッセイです。HPLC/MS法と比較し、高濃度かつ短時間で測定が可能です。検量感が高いことや低コストを実現し、HPLC/MS法と高い相関性を持つため信頼性にも優れています。また、機器を省スペース化し設置の壁も少量に抑えることで、CO<sub>2</sub>削減を可能にした環境配慮型の技術です。米国で特許を獲得し、日本においては環境省の認定法として認められた国内唯一の方法であり、ISO（国際規格）にも取り込まれています。

飛生源のモニタリングなどで活躍

ダイオキシン類は環境に蓄積し、海産物の魚卵で年に10倍以上の検査義務があり、未検出は認定法として適用されています。安全管理が求められる処分場では、検査検体を採りやすいため、自主検査ツールとしても利用されています。また、モニタリングツールとしても、土壌、底質、水質、気象など、多様な環境での活用が可能です。

企業概要  
設立: 1958年 従業員: 369人  
事業内容: 環境サービス(分析検査・施設管理・工業廃品・廃油処理)  
売上高: 18,444,828千円

**No.2: アウンデ紡織株式会社**  
自動車・鉄道車両・航空機に使用される  
高性能ファブリック

の美と革新の技で多彩なファブリックを  
出し、世界中のお客様に届けています！

“NEXT FABRIC”の創造！

当社が特許を持つオリジナル商品は数多くあります。生物繊維がベースの役割をする“banai(バネックス)”スウェードを超える風合いを実現した“BRIN+NAUB(ブリンノープ)”

2024年11月「Tスカウツ株式会社」から「アウンデ紡織株式会社」へ社名変更し、未来へ向けた多様なファブリック製品を開発し続けます。

鉄道車両・航空機などの表皮材

自動車、鉄道車両や航空機、飛行機乗客用シートは、人々の日常に欠かせない存在です。これら乗客の安心と快適性を、“quality of life”を追求しています。自覚の一端を“保護”に渡し、生活を豊かにするための仕事をしています。

企業概要  
所在地: 9-220-1122 滋賀県豊郷町安田町東内9-22 (本社)  
電話番号: 0743-42-4012  
E-mail: saiyu@ib-kawashima.com  
HP: https://www.ib-kawashima.co.jp/  
設立: 2009年 従業員数: 247人  
事業内容: 鉄道車両用表皮材・内装部品の開発・製造・販売(主ファブリック製品)



<掲載先>

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/339911.html>